

◆行政改革推進委員会における評価結果

委員会としての評価	事業の現状について	現状を踏まえた評価 (今後どのように取り組むべきか)
<p>現行どおり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり活動の先進的モデルとして実施されていると認識しています。 ・足育推進事業について、歩行計測調査等を実施しており、これを踏まえて、高齢者事業の歩行改善指導やフットケアの実施等を進めていくものと認識しています。 ・健康長寿都市を掲げる佐久市にとって、看板的なものとなりうる大変素晴らしいプロジェクトだと思います。益々拡大して欲しいと思います。 ・目指す目的、成果は是認できます。 ・足育・海外視察研修受け入れ、共に事業の方向性や取組内容には賛同できるが、足育は民間に、海外視察研修受け入れは医療機関等へ委託が可能でないかと考えます。 ・認知度まだ浅い。広報強化の余地があると思います。 ・足育は、健康長寿のスローガンであると思います。 ・医療介護費の削減に繋がると思います。 ・健康推進事業については板についてきていると思うので、強力に進めて欲しいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政、大学、病院が連携して、さらにステップアップをして欲しい。また、佐久市発の素晴らしいプロジェクトとして強く海外にも発信して欲しいと思います。 ・足育推進事業について、市民への広報に積極的に取り組むべきです。 ・「足育」は聞きなれない言葉ですが、これまでの取組を活かし、市民に「足育」からの健康づくりが浸透するよう民間と連携し進めて欲しいと思います。 ・事業は民間委託し補助金等の資金支援で関わる方が良いと思います。 ・玄人向けの動作解析等のアプローチ(例えば佐久長聖の運動部、市内理学療法士と協力した取組)や、一般向けのアプローチも強化して欲しいと思います。 ・親が子供を学校に送っている家庭が多いため、足育の授業は、保護者への指導も検討して欲しいと思います。高齢者は、地域包括支援センター、保健師、民生児童委員の3者懇談等から、支援につなげる方法もあると思います。 ・評価シートにあげられている「事業の課題」について、重点的に取り組んで欲しい。また、市が行う業務と民間委託した方がよい業務を精査し、業務の切り分けは是非行って欲しいと思います。 ・海外からの視察受け入れも結構だが、まずは市民への講習や健診を充実させるべきです。歩行改善プログラムの定期健診への導入が待たれます。 ・佐久の健康長寿は県外でも有名であり、必要な事業であると思います。

◆評価結果を受けて現時点で考える、今後の対応方針

対応方針	今後の方向性	具体的に実施する内容等
<p>手法等の見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・足育について、これまでは広報等によるPRと歩行調査を主としていましたが、将来的に健診項目への追加を見据え基本健診等事業との再編を進めます。 ・海外視察の受入れについて、市が主体となっている現在の体制を見直します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足育の認知度が低いとの意見をいただいていますので、今後も機会があるごとに積極的な周知を行うとともに、市民の皆様へ足育による健康づくりを広げるため、市民へのアプローチ方法や実施形態等の検討を重ね、定期健診への導入を目標に事業を推進していきます。 ・保護者向けには、乳幼児健診等に正しいファーストシューズの選び方などをチラシで周知し、幼少期から足の疾病予防に繋げる働きかけをします。 ・民間への委託については、海外視察の受入れで民間委託が可能な業務について洗出しを行い、業務の切分けを検討していきます。 ・海外視察の受入事業は、新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延により、現在は視察の要請がない状況です。まずは視察の受入れ時に対応できる通訳の体制(会員登録・紹介等)を整備しつつ、新型コロナウイルス感染症の収束後を見据えて、市が主体となっている現在の体制を見直します。